

法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会
施設名	キディ大倉山・横浜 キディ石川町・横浜

発表者名 (職名)	橋本詩織 (園長)	住所	横浜市港北区大豆戸町35-1 横浜市中区吉浜町1-6		
発表者名 (職名)	水上彩子 (園長)	TEL	045-222-0880:石川町 045-717-7122:大倉山	FAX	045-222-0885:石川町 045-717-7125:大倉山
発表者名 (職名)		メールアドレス	hashimoto-s@skfch.com mizukami-a@skfch.com		
		URL			
		定員	大倉山60名 石川町69名	職員数	大倉山20名 石川町23名

発表の概要・内容

伸こう福祉会の保育園は横浜・川崎・藤沢・鎌倉と様々な地域にあり、保育室内の環境や特色も園それぞれです。しかし、保育園で働いている職員皆が大事にしたいことはひとつ。「子どもの健やかな成長を後押しするような保育」をしたいという気持ちです。その様な思いを一つにし、先生たちの保育で大切にしたい気持ちの実現のために「保育で大切にしたいこと」という冊子を作りました。人それぞれ保育で大切にしていることはあると思います。

・子ども達と元気に遊ぶこと・子ども達を大好きでいること・子どもの気持ちを第一に考えること・遊びこめる環境構成づくりをすること等。

その様な思いをまとめた中身をご紹介します。

1. <子どもへの関わり>

子ども達は「〇歳までに〇〇ができるようにならなければ」とは当然思っていない。発達の足並みは人それぞれです。日々の保育では褒めるポイントを探し、肯定的な声掛けを増やします。

2. <環境構成について>

子どもの遊びや生活を考え、動線に配慮し家庭に近い雰囲気で落ち着ける空間作りを意識します。部屋の入り口に立った時に子どもが「あれで遊ぼう」とすぐに思える環境づくりが大切です。また棚やパーティションを使い、遊びこめる環境作りも大切にしています。

3. <遊び>

晴れた日は積極的に戸外に出て自然の変化を感じられるようにします。モットーは「子どもと一緒に全力で楽しむこと」を掲げて日々過ごしています。子どもは遊びを通して成長していきます。日常的に使用する玩具は子どもに与える影響が大きく、ただ用意するだけでなく年齢発達に適しているか自由に選択できる環境になっているか意識していきます。

4. <生活>

子ども達が楽しく食事ができることを考え子ども達と過ごしています。また、食事までの一連の流れ（手を拭いてもらう・エプロンをつける・席に着いたら食べ始める。）を全職員で統一しどの職員がついても安心して食事がとれるようにしています。また、着替えやオムツ交換も、職員自身が自分に当てはめて「自分がされてどうか」を考えるように伝えています。そうすることで、何も声をかけずに股間部分を触って排泄確認をしたりすることはなくなります。

5. <行事>

行事の為に子どもの活動を設定するのではなく、日頃の興味・関心の延長線上に行事があることを意識しています。行事に対するねらいを明確に定めることが大切になります。

6. <子育て支援>

保育園の役割は保護者支援も大きな一つとなります。日々のコミュニケーションの積み重ねで信頼関係を築き良き理解者となり専門性を生かした支援の実施を行います。また、保護者同士が繋がるような機会をもつことも大切です。

メ モ